



所属 _____ 年 ____ 月 ____ 日

番号 _____ 氏名 _____

ドリル編 第25章

レポート課題とレポートを書く順序

レポートを書いてみよう —— スロット型教材 ——

第3部について

第1部と第2部では、分かりやすい文章の書き方について学んできました。この第3部では、これまでのことを踏まえ、実際にレポートを書く練習をします。

第3部の各章の構成は基本的に次のようになっています。

まず、課題を通して、レポートを書くために必要な知識やポイントを学びます。興味深い様々な架空の研究を題材として、特に気をつけてもらいたい部分を、無理なくトレーニングできるように工夫されています。積極的に取り組んでください。

その後、「スロット型教材」という教材を用いて、実際にレポートを書いていきます。スロット型教材では、第3部の全章を通して以下のレポート課題が出たという設定で、レポートを書くことになります。最後には、無理なく6000字前後のレポートができあがるようになっています（完成したレポートを107～112ページに示します）。

設定：共通科目「日本語表現」の期末レポート課題で、以下の課題が出たとします。

レポート課題			
科目名	共通科目:日本語表現	水曜日 1時限	
教員名	柄沢彦泰	対象学年	1～4学年
課題	授業の内容を踏まえ、自由にテーマを設定して論じなさい。		
分量	400字詰原稿用紙15枚程度 (約6000字)の分量であること。	サイズ 書式	A4横書き。行数と文字数は自由。 題名・学籍番号・氏名を記載した表紙を付けること。
提出期間	7月20日(火)～7月30日(金)(16:30まで) 締切厳守 (いかなる理由でも、提出期限を過ぎたものは受理しない)		
提出場所	教務担当(事務センター1階) 提出ポスト		

スロット型教材について

第3部で取り組む「授業の内容を踏まえ、自由にテーマを設定して論じなさい」というレポート課題は、大学で最もよく出る課題であり、同時に、最も書きにくい課題でもあります。さらに、原稿用紙15枚程度(6000字程度)という分量は、レポート課題の中でも、やや多めの分量です。これぐらいの分量になると、「なかなか書けない」と悩む人も多いようです。

しかし、難しいと思う人も、もう心配しないでください。レポートや論文の書き方には、実は、「型」があるのです。基本的な「型」さえマスターしてしまえば、一定レベル以上のレポートや論文を、ある程度の時間内に書くことができるようになります。

これから第3部で学ぶスロット型教材は、そのレポートや論文の「型」を身につけるためのものです。ここでは、その教材の一部をお見せします。

〈スロット型教材例〉

この章では先行研究について述べる。最初に、先行研究の概観について述べておく。このレポートのテーマである [①] に関する先行研究には、管見の限り、[②] [③] [④] [⑤] 等がある。



所属 _____ 年 ____ 月 ____ 日

番号 _____ 氏名 _____

ドリル編 第25章

レポート課題とレポートを書く順序

この教材の便利なところは次の点です。

- I [] のスロット部分に文言を埋めていだけで、レポートを完成させることができるので、レポートや論文のイメージを捉えやすく、書き方の「型」を、効率的に身につけることができます。
- II それぞれの事情にあわせて、[] 等のスロット部分に入れる文言を変更すれば、自分なりのレポートができあがります。当然、この教材を全くそのまま使うというわけにはいかないでしょうが、何も無いところからレポートを書くよりも、「このスロット型教材をアレンジしてレポートを書く」という方が、イメージを捉えやすいはずです。

第3部を通して基本的な「型」を身につけた後は、それをどのようにアレンジできるか考えてみてください。具体的には、大学等に出されるそれぞれのレポート課題にあわせて、スロット部分に入れる文言を変えてみたり、一部の文章を自分の分野の言い回しや用語に差し替えたり、必要に応じて章立てを変更したりすることになると思います。基本的な「型」を身につけた後は、どんどん自分なりに改良してほしいと思います。

分野によっては、書き方が異なる場合も多いと思います。しかし、その場合でも、「スロット型教材とは、ここが異なる」というように、スロット型教材を出発点として相違点をおさえていくと、当該分野の書き方を、より早くマスターできると思います。

ここで強調しておきたいことは、この教材で一度「型」を身につければ、それをアレンジするだけで、様々なレポートや論文に対応できるようになるということです。是非、積極的に取り組んで、基本的な「型」を身につけてください。

この章では、スロット型教材に先立って、レポートを書いていく順序について考えてみたいと思います。次の課題に取り組んでください。

STEP 1

- 1 ▶▶ ここでは、レポートを書いていく順序について考えます。実は、「書きやすく」「分かりやすい文章になる」順序、というものがあのです。

既に21章でお話しした通り、レポートや論文の基本的な構成は、だいたい以下の通りです。

第1章	はじめに	()
第2章	先行研究について	()
第3章	調査の概要	()
第4章	調査結果と考察	()
第5章	結論と今後の課題	()
	引用文献一覧	()

あなたがレポートを書くとしたら、どのような順序で書きますか。最初に書く章は1、二番目に書く章は2のように、上の () の中に数字を入れてみてください。第1章から順に執筆するという人は、初めから、1、2、3、……と書いてください。

ヒント…1、2、3、……と第1章から書くやり方も当然あると思います。しかし、いきなり、「第1章 はじめに」を書くのは、結構大変ではありませんか。